

# 2005年12月期 決算説明会

2006年2月14日(火)  
株式会社タムロン (証券コード: 7740)

# CONTENTS

## 決算概要及び次期の見通し

1.	事業概要	P.4
2.	売上高推移	P.5
3.	営業利益推移	P.6
4.	セグメント別推移	P.7
5.	当期利益推移	P.10
6.	財政状態	P.11
7.	キャッシュ・フロー	P.12
8.	有利子負債	P.13
9.	棚卸資産	P.14
10.	設備投資及び償却費	P.15
11.	開発費の推移	P.16
12.	社員数	P.17
13.	配当金の推移	P.18
14.	TOPICS	P.19

## 中期戦略

1.	ブランドメッセージ	P.21
2.	中期目標	P.21
3.	セグメント別中期計画	
	写真関連事業	P.22
	レンズ関連事業	P.23
	特機その他事業	P.24
4.	2006年度の課題	P.25

# 決算概要及び次期の見通し



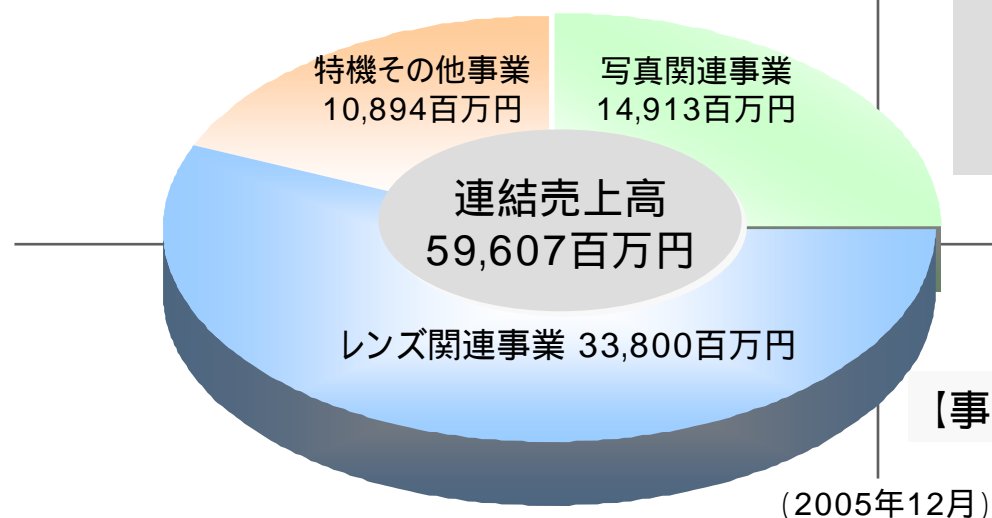
# 1. 事業概要

## 【会社情報】

- ❖ グループ会社(連結子会社) : 6社
- ❖ 国内事業所数 : 4 / 営業拠点 : 5
- ❖ ISO9001、ISO14001に基づく  
グループ開発、生産体制
- ❖ 連結売上高 : 59,607百万円 (05年12月)
- ❖ 連結従業員数 : 3,672人 (05年12月末)
- ❖ 総資産 : 44,081百万円 (05年12月)

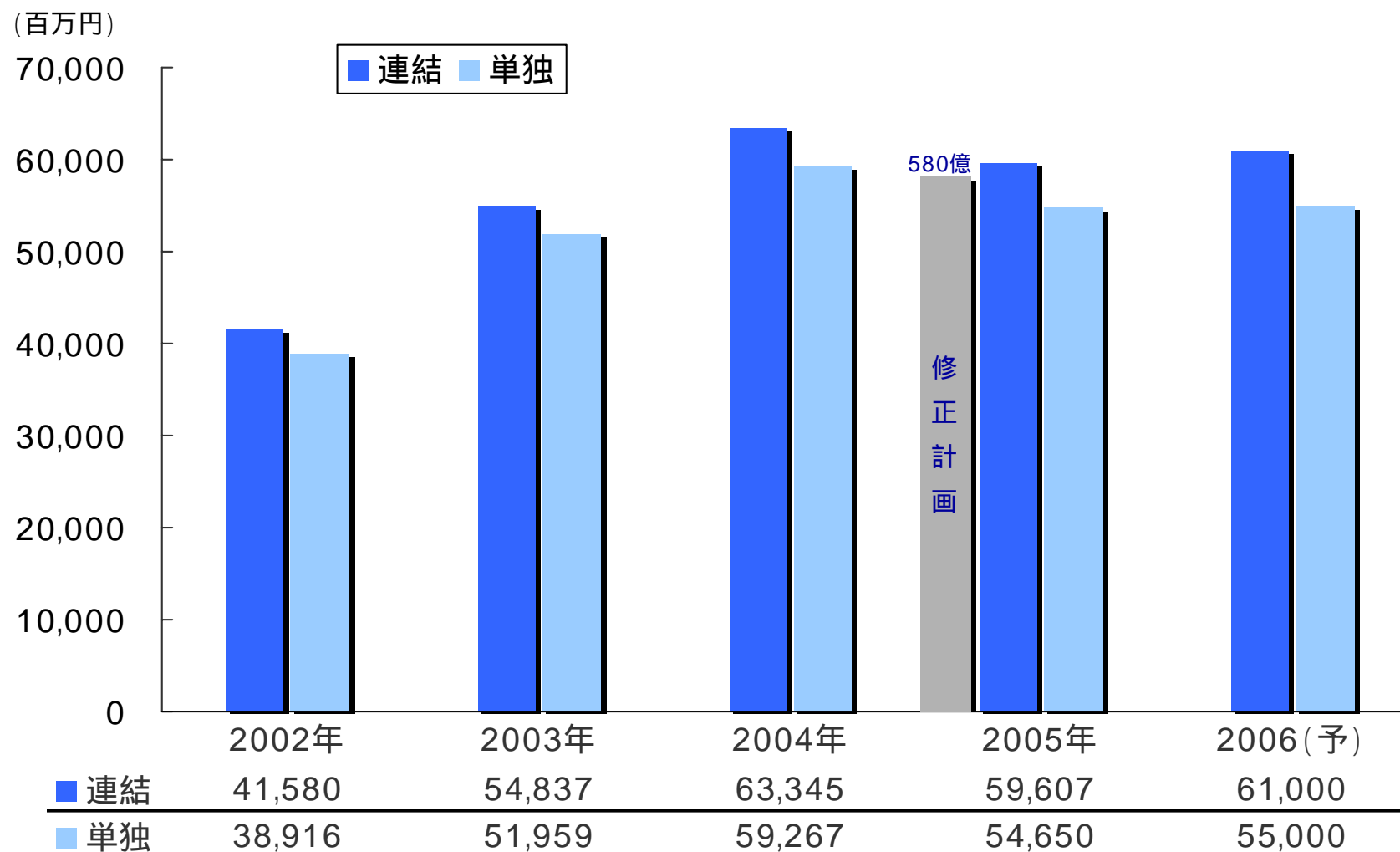
## 【事業内容】

- ❖ 写真関連事業  
一眼レフカメラ用交換レンズ  
中判カメラ (2005年10月末をもって生産終了)
- ❖ レンズ関連事業  
ビデオカメラ用レンズ  
デジタルカメラ用レンズ  
携帯電話用レンズユニット
- ❖ 特機その他事業  
CCTVカメラ用レンズユニット  
プロジェクター用レンズユニット 精密金型  
精密プラスチック成形品 原器  
各種光学用デバイス部品等

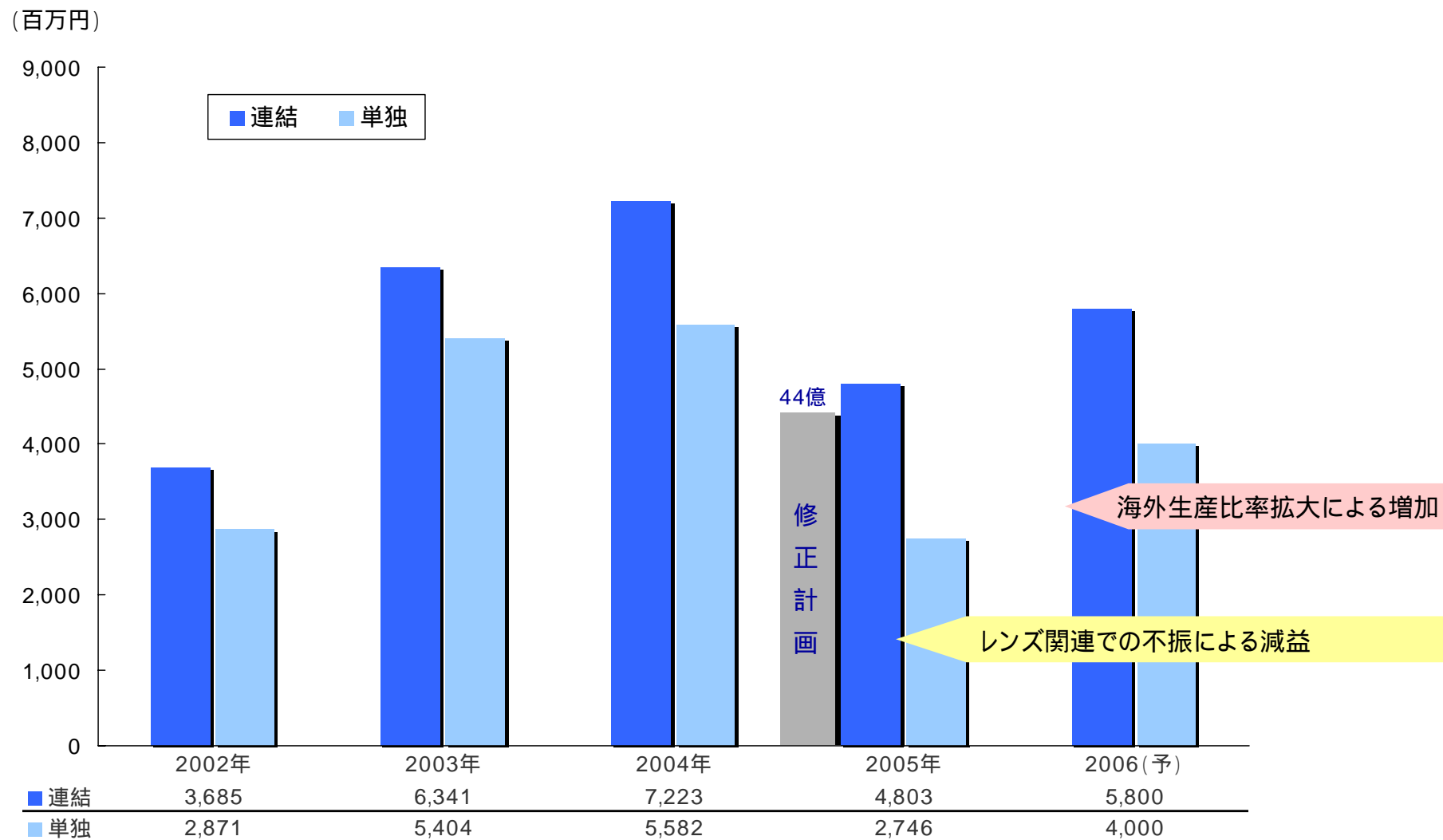


【事業セグメント別売上高】

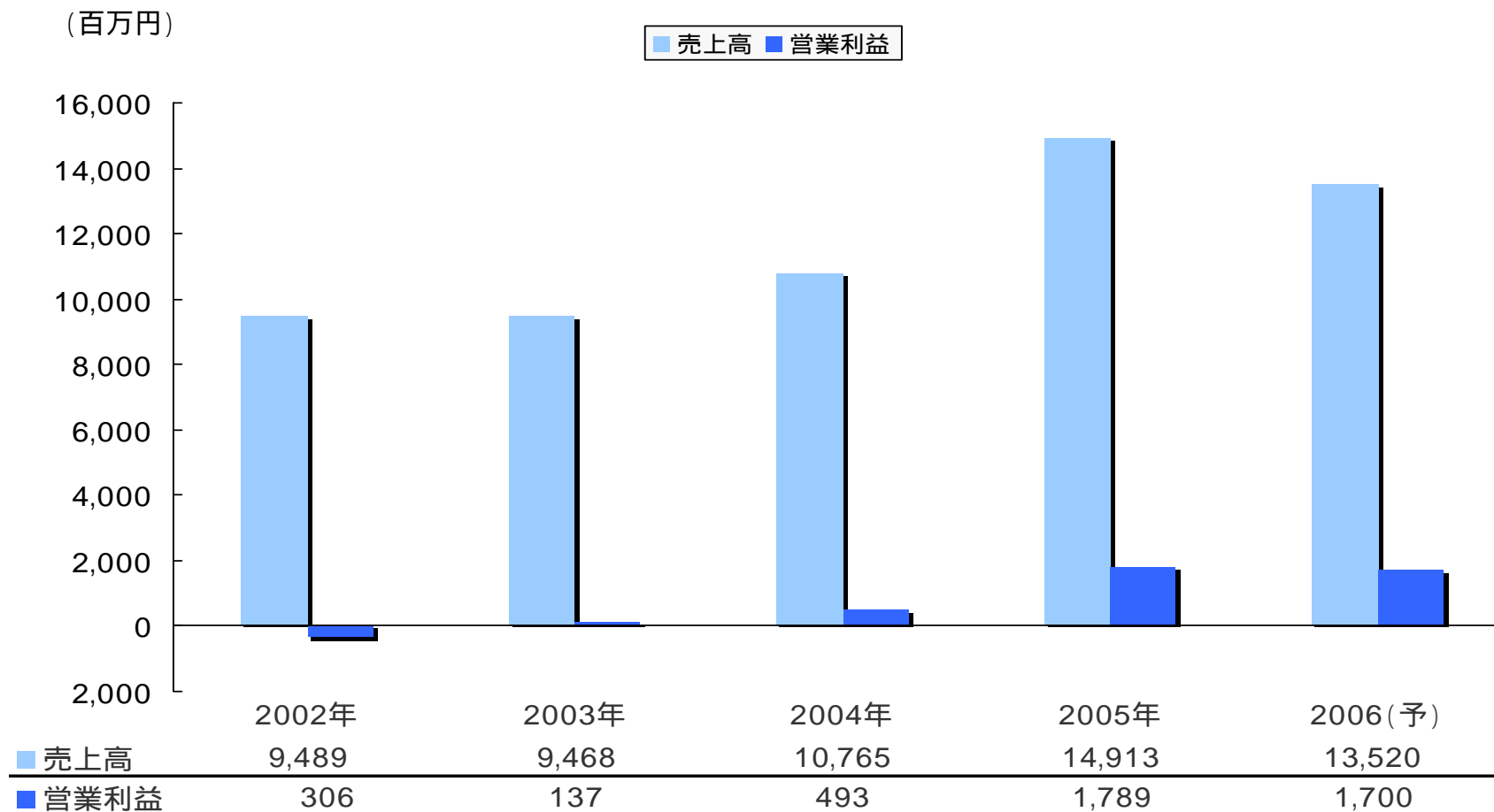
## 2. 売上高推移



# 3. 営業利益推移



## 4. セグメント別推移 (写真関連事業)



### 2005年

売上高：デジタル一眼レフカメラ用交換レンズの増加による

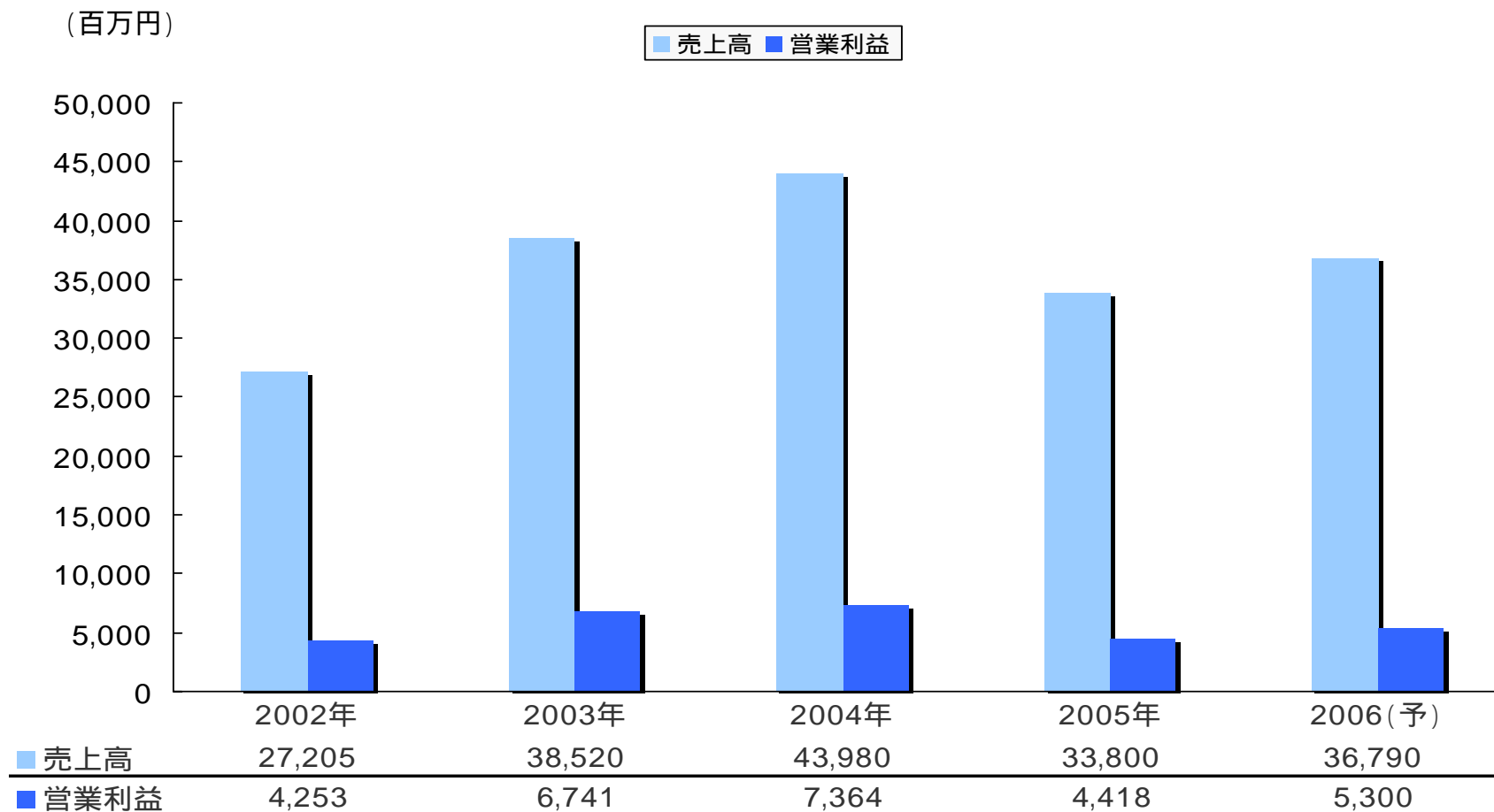
営業利益：高付加価値商品による利益の増加

### 2006年

売上高：自社ブランドは増加。但しOEMは減少。

営業利益：OEMの減少による利益の減少

## 4. セグメント別推移(レンズ関連事業)



**2005年**

売上高：DSCの減少、カメラ付携帯電話用レンズユニットを5月より販売

営業利益：DSCの減少による

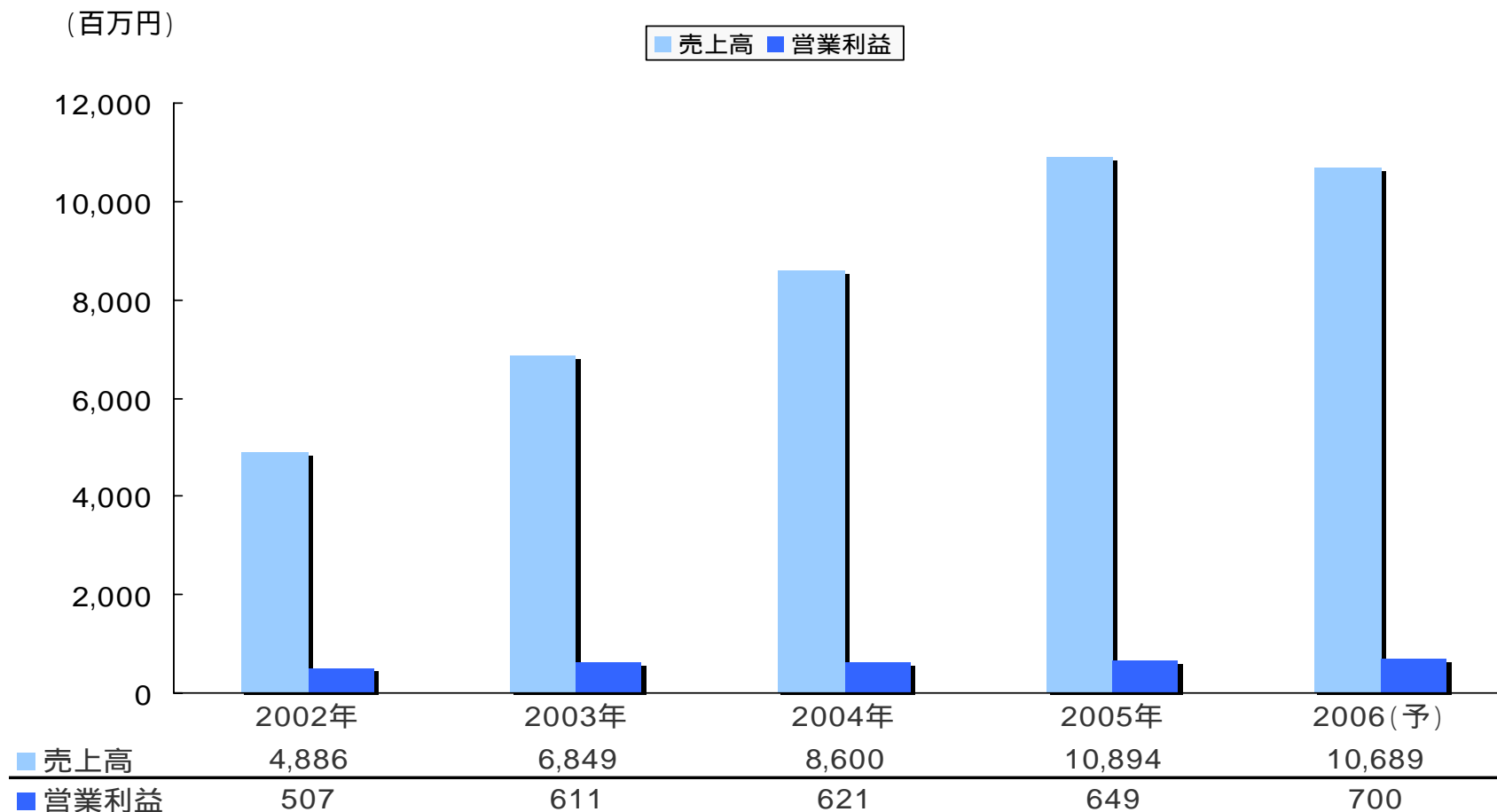
**2006年**

売上高：DSCの増加による

営業利益：海外生産増加及び現地調達率向上による原価低減



## 4. セグメント別推移 (特機その他事業)



**2005年**

売上高：リアプロの増加

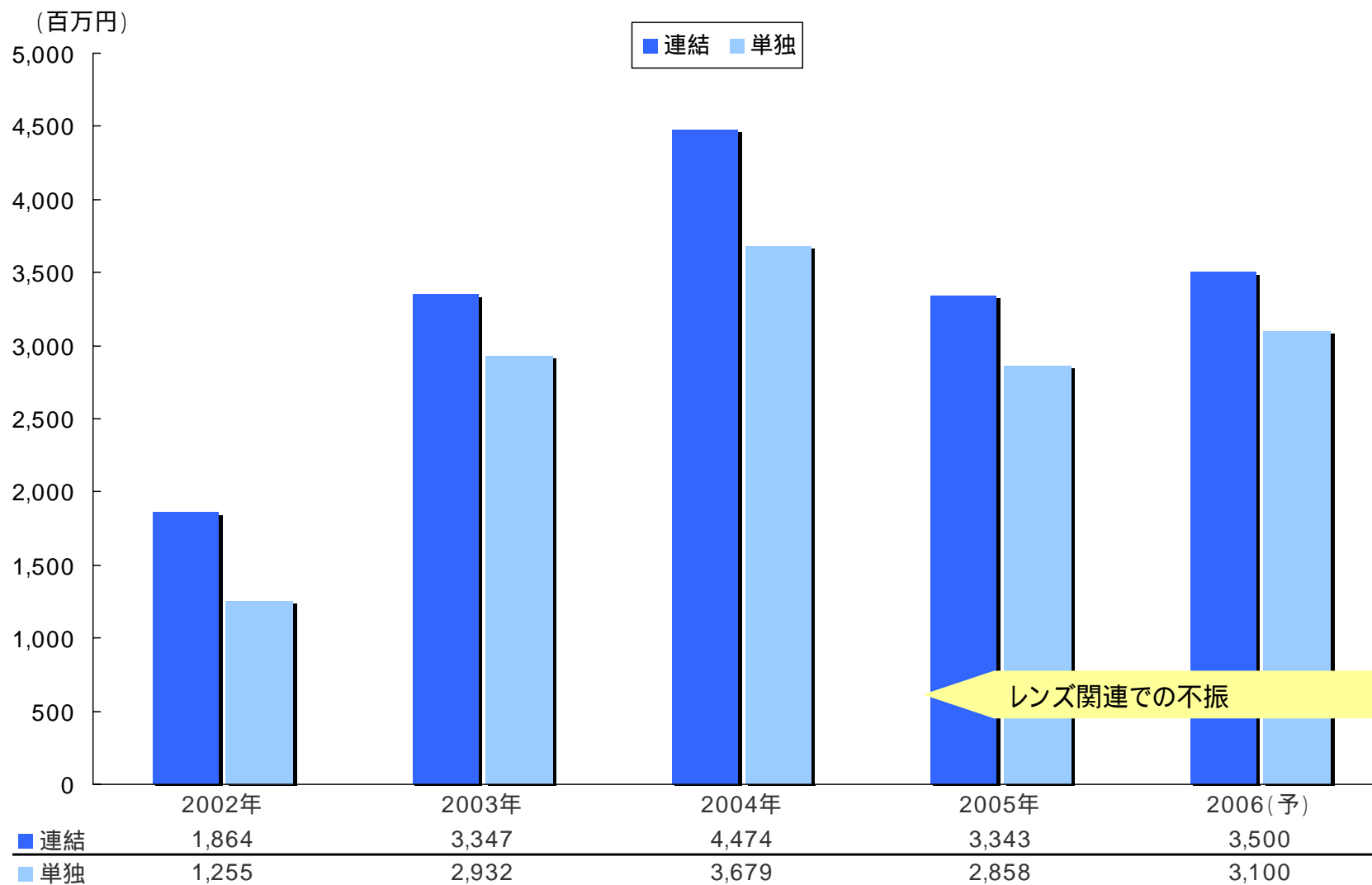
営業利益：リアプロ関係での開発費増加

**2006年**

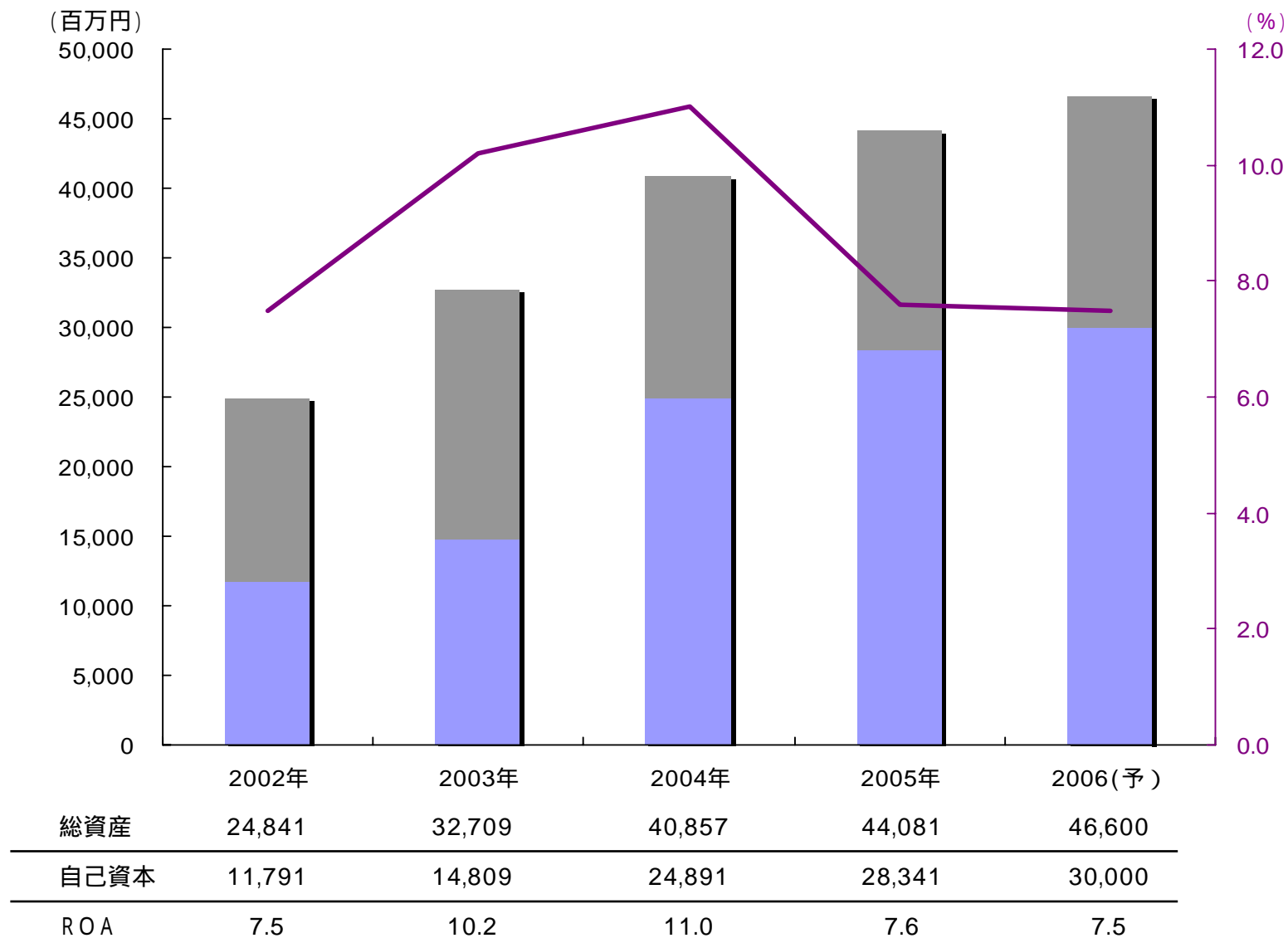
売上高：プロジェクター事業の利益重視政策

営業利益：海外生産による原価低減

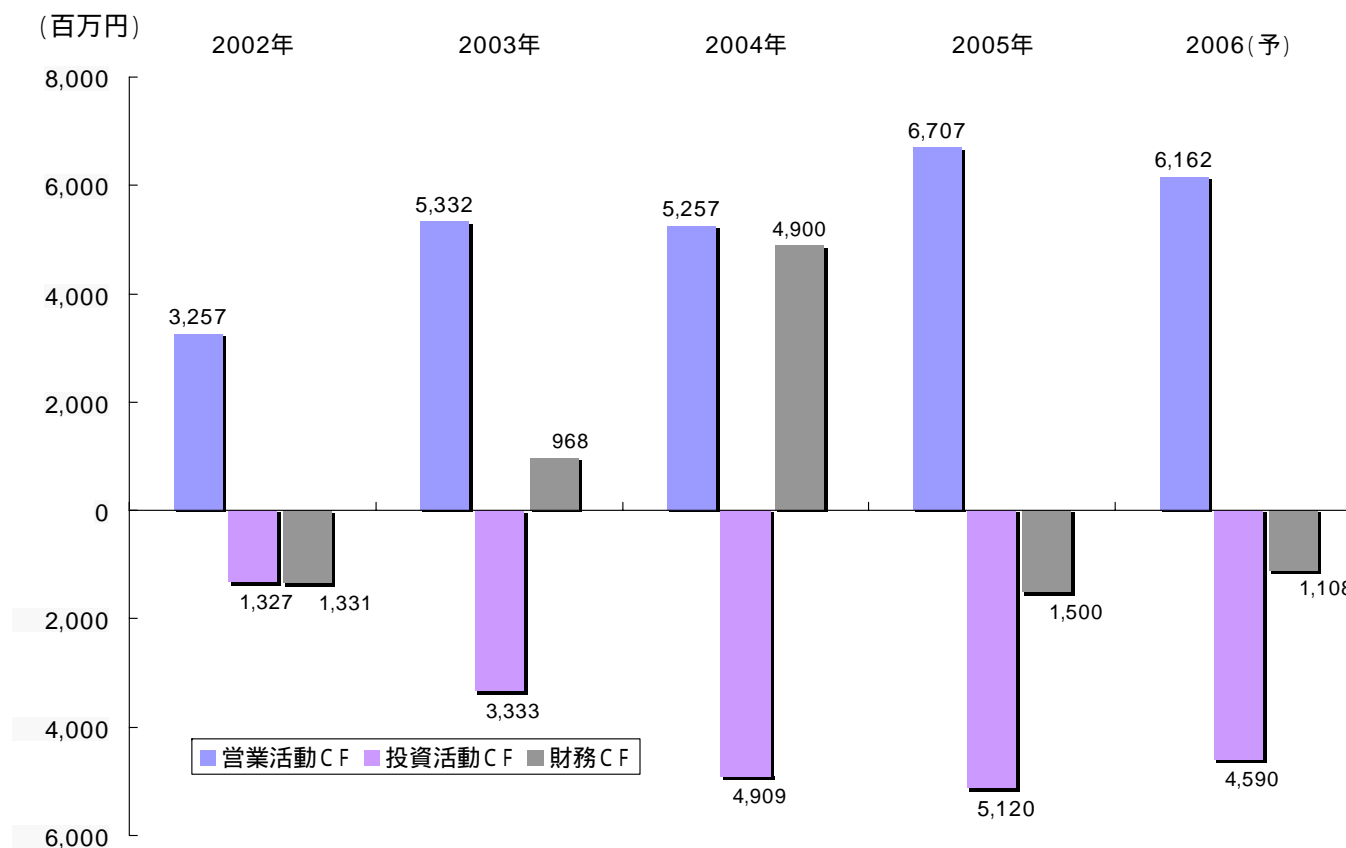
# 5. 当期利益推移



# 6. 財政状態



# 7. キャッシュ・フロー



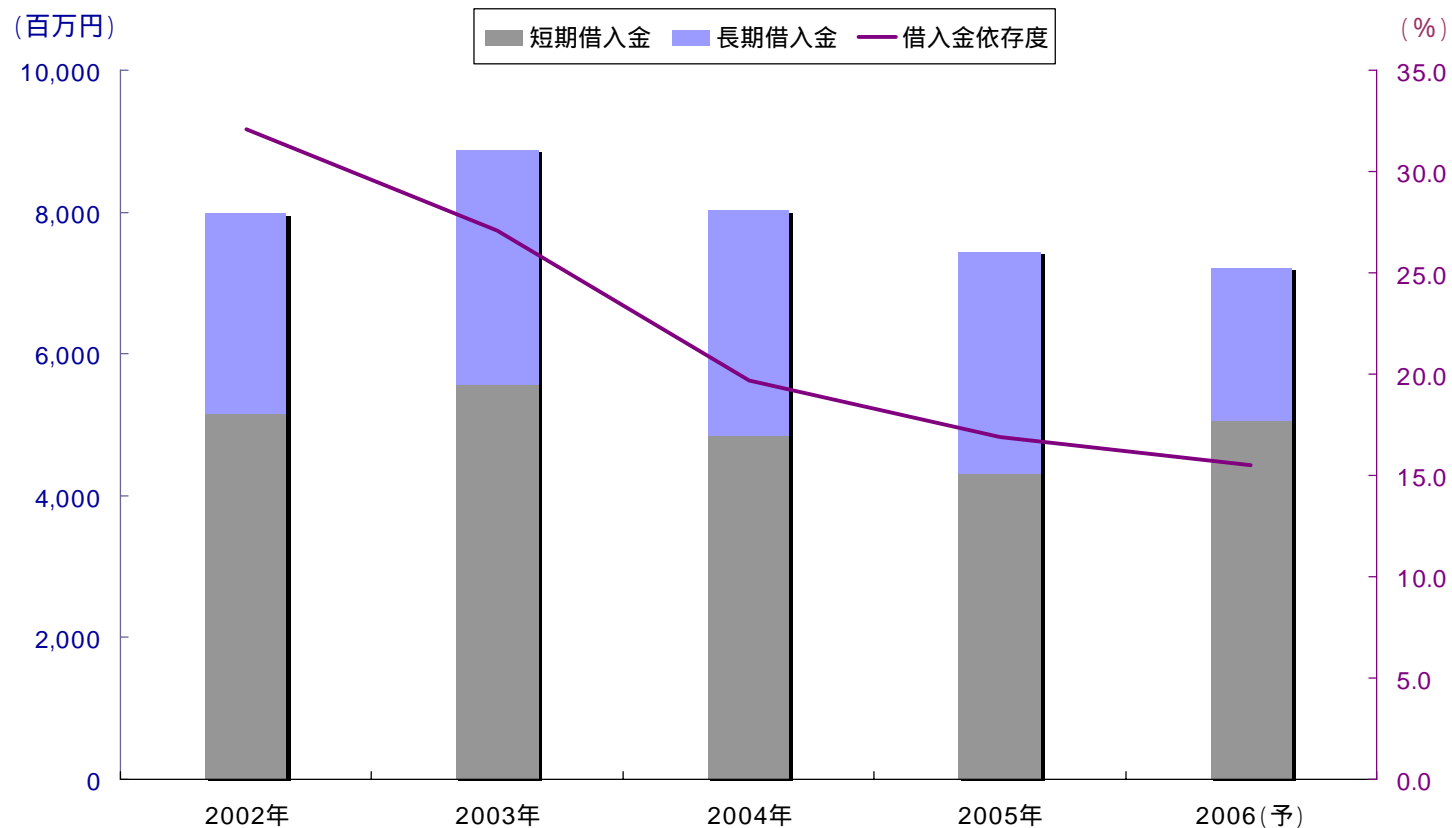
	2002年	2003年	2004年	2005年
営業活動CF	3,257	5,332	5,257	6,707
投資活動CF	1,327	3,333	4,909	5,120
財務活動CF	1,331	968	4,900	1,500
現金及び現金同等物の期末残高	3,175	5,998	11,144	11,496
手元流動性(ヶ月)	0.92	1.31	2.11	2.31

棚卸資産、法人税の支払額等の減少による

固定資産の取得による

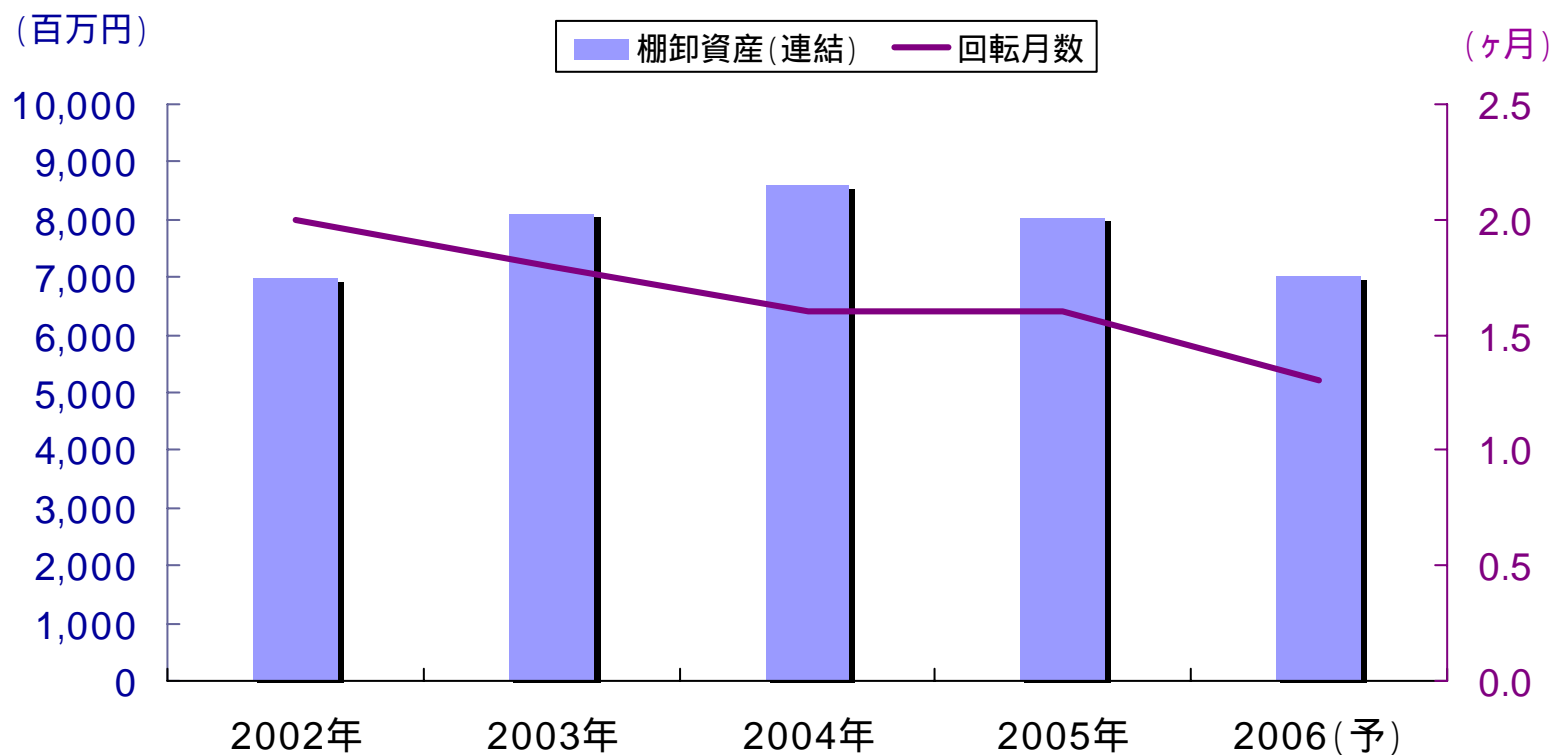
配当金の支払、長期借入金の返済による

# 8. 有利子負債



	2002年	2003年	2004年	2005年	2006(予)
短期借入金	5,151	5,564	4,845	4,308	5,069
長期借入金	2,824	3,313	3,184	3,131	2,146
合計	7,976	8,877	8,029	7,439	7,215
借入金依存度	32.1%	27.1%	19.7%	16.9%	15.5%

# 9. 棚卸資産

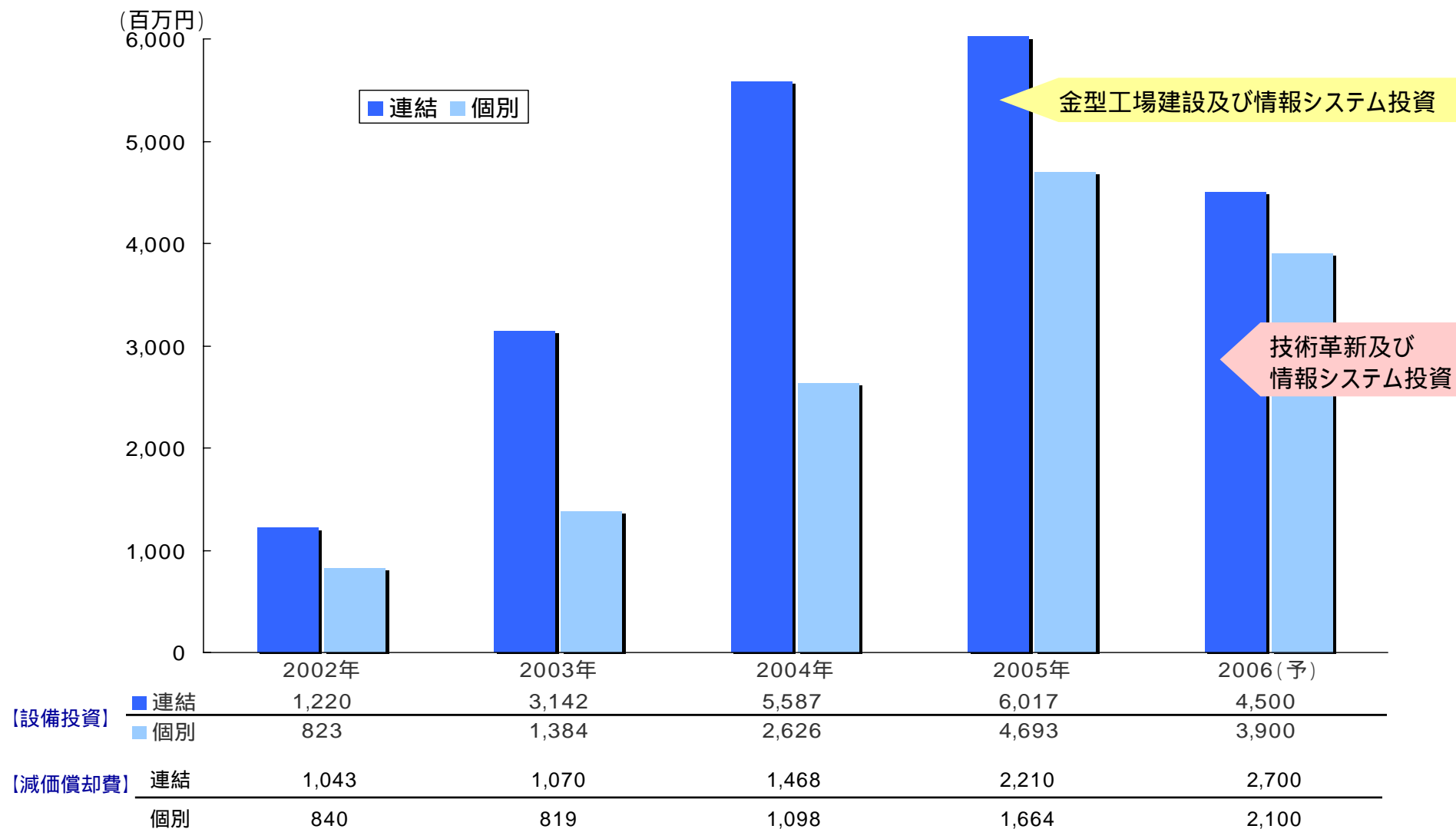


【連結】	2002年	2003年	2004年	2005年	2006(予)
棚卸資産	6,969	8,087	8,593	8,026	7,000
回転月数	2.0	1.8	1.6	1.6	1.3

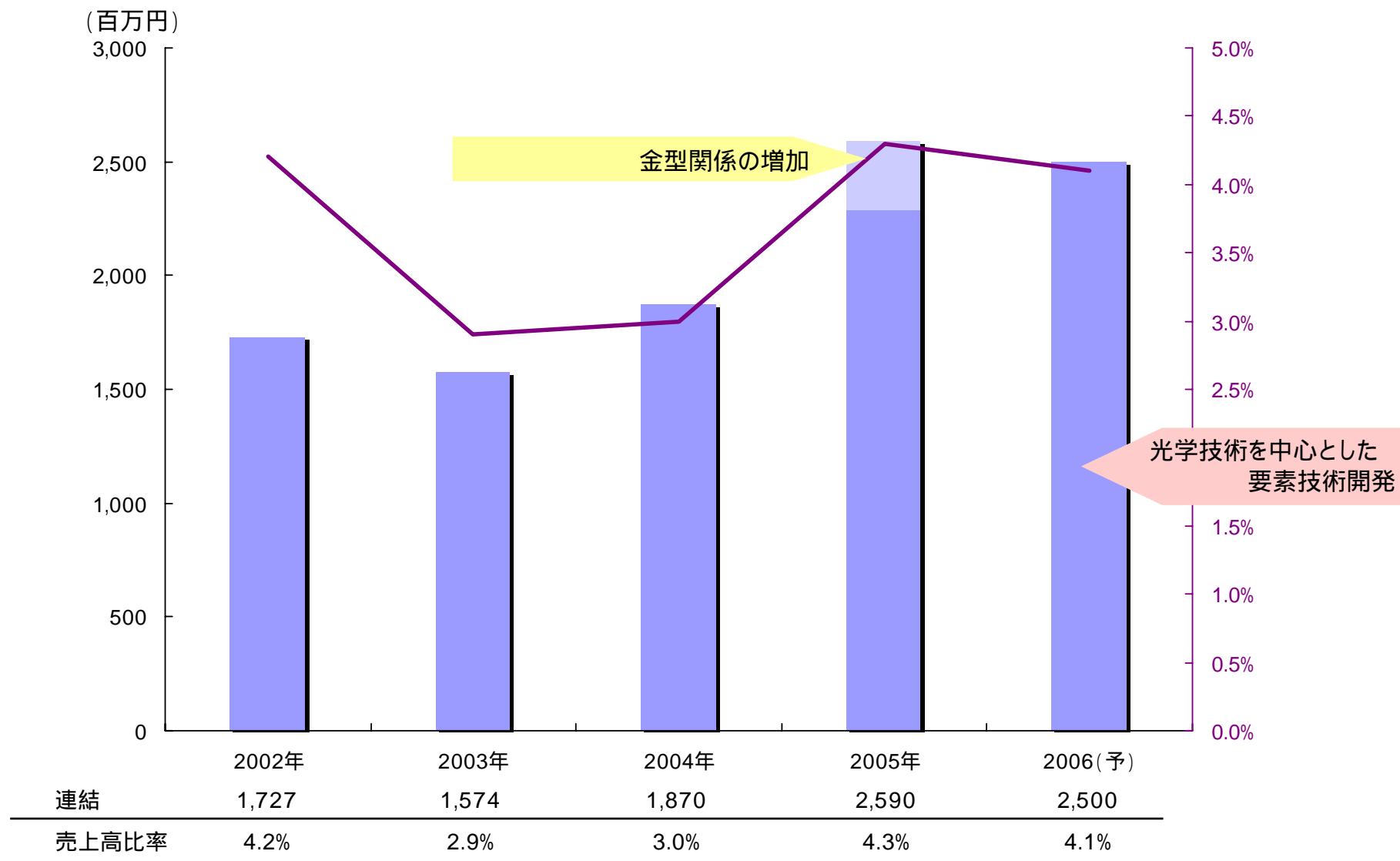
【個別】	2002年	2003年	2004年	2005年	2006(予)
棚卸資産	5,043	5,644	6,113	4,835	4,100
回転月数	1.6	1.3	1.2	1.1	0.9

生産、物流改善により、在庫金額の圧縮を目指す

# 10. 設備投資及び償却費

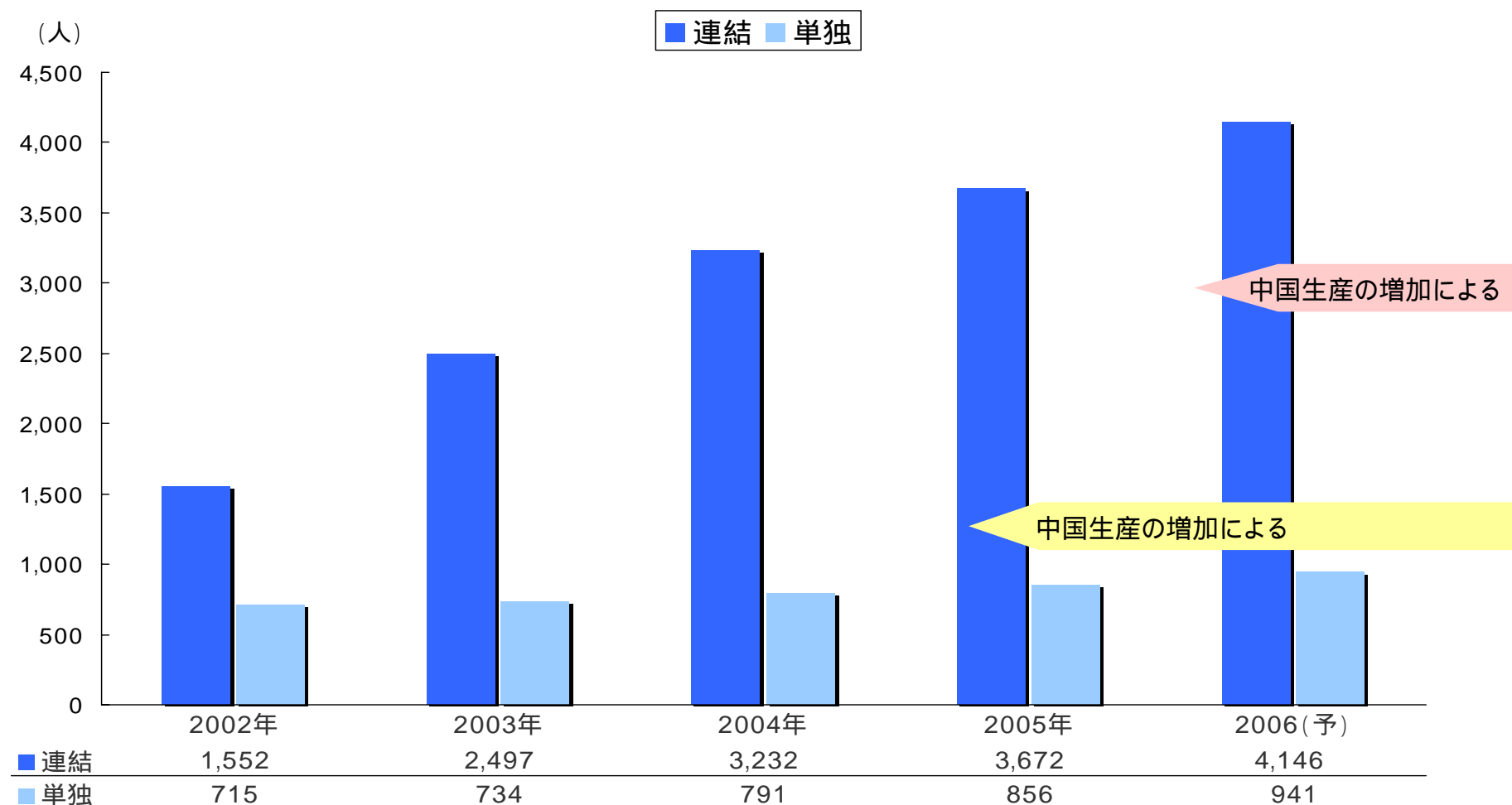


# 11. 開発費推移





# 12. 社員数



# 13 . 配当金の見通し

安定した利益配分を継続することを基本方針とし、長期的視野に立って収益力の向上、経営体質強化及び将来への新事業展開を図るべく各種研究開発や設備投資等を勘案した配当政策を進めるとともに、業績に応じた利益配分に努めてまいります。

株主の皆様への具体的な利益還元率につきましては、中長期的に連結ベースで30%程度を目標に努力してまいります。

(単位:円)

	2003年	2004年	2005年	2006年 (予想)	
中間	—	15.00	25.00	15.00	
期末	20.00	25.00	20.00	20.00	
合計	20.00	40.00	45.00	35.00	
配当性向	7.8%	12.4%	27.7%	28.2%	連結ベース
	8.9%	15.1%	32.4%	31.9%	単独ベース

# 14 . TOPICS



2005年9月 新金型工場が竣工(大宮本社)



2005年5月 カメラ付携帯電話市場への参入



2005年5月 A14 が TIPA レンズ大賞を受賞



2005年10月 タムロン光学(上海)有限公司設立



# 中期戦略

**TAMRON**

産業の眼を創造貢献するタムロン

## 1. ブランドメッセージ

---

**産業の眼を創造貢献するタムロン®**

## 2. 中期目標 (2008年)

---

- 売上高: 700億円
- 営業利益: 70億円 (営業利益率 10%以上)
- 経常利益: 61億円

# 3. セグメント別中期計画

## 写真関連事業

売上高：15,700百万円

2008年  
中期目標

- ❖ 成長するデジタル一眼レフカメラ用レンズへの積極的投資
- ❖ OEM事業の体制強化

### タムロンDi IIシリーズ [デジタル専用]



**Di II** レンズ  
デジタル専用  
超高倍率ズーム

AF18-200mm  
F/3.5-6.3 XR Di II  
LD Aspherical [IF] Macro  
(Model A14)  
28-300mm 相当



**Di II** レンズ  
デジタル専用  
望遠ズーム

AF55-200mm  
F/4-5.6 Di II  
LD Macro  
(Model A15)  
85-310mm 相当



**SP Di II** レンズ  
デジタル専用  
超広角ズーム

SP AF11-18mm  
F/4.5-5.6 Di II  
LD Aspherical [IF]  
(Model A13)  
17-28mm 相当

### タムロンDiシリーズ [フィルム/デジタル兼用]

**Film & Digital Di** レンズ — フィルムとデジタルで良好な画質

**Di** (Digitally Integrated Design) は、デジタル一眼レフカメラの特性に配慮した光学設計のレンズです。

- 良好な画質 (高度な品質管理)
- 利便性 (便利な高倍率ズーム)
- コストパフォーマンス設計



**AF28-300mm**  
F/3.5-6.3 XR Di  
LD Aspherical [IF] MACRO  
(Model A061)

**SP Di** レンズ — 高設計仕様の高画質

**SP**  
高設計仕様  
SPレンズシリーズ

- 高仕様 (高い設計仕様)
- 高画質設計  
(コストに拘られず、スペックと画質を第一優先)

SP AF17-35mm Di (Model A05)  
SP AF28-75mm Di (Model A09)  
SP AF90mm Di (Model 272E)  
SP AF180mm Di (Model B01)  
SP AF200-500mm Di (Model A08)



# 3. セグメント別中期計画

## レンズ関連事業

売上高: 42,690百万円

2008年  
中期目標

- ❖ DSC、DVC市場は、コスト競争力の強化を一層進め、売上、利益の確保を図る
- ❖ 携帯事業に関しては、光学ガラスを使用する高メガ・ズームを開発し、市場に投入する
- ❖ 魅力あるサプライヤーとして新技術による革新を進め、受選力を強化し、付加価値を高める



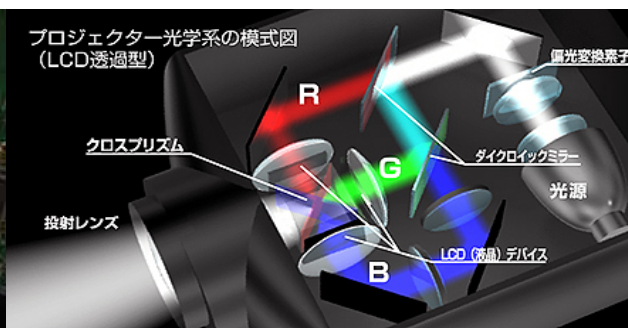
# 3. セグメント別中期計画

## 特機その他事業

売上高:11,610百万円

2008年  
中期目標

- ❖ CCTV事業は、海外での体制を強化し、売上、利益の確保を図る
- ❖ 自動車関連 / 虹彩 / ロボット等の産業の眼の受注拡大
- ❖ プロジェクター光学デバイス事業は、技術基盤を確立し、早期に採算事業として再構築する





## 4. 2006年度の課題

1. 「産業の眼を創造貢献するタムロン」として各事業とも魅力的な新製品を積極的に市場投入する
2. プロジェクター光学デバイス事業の再構築とカメラ付携帯事業の拡充
3. 光学技術を中心とした要素技術開発と知的財産戦略の強化推進
4. 海外生産並びに海外調達、さらに国内工場の原価低減活動の一層の推進
5. 金型製造革新によるリードタイムの短縮
6. グループ管理体制強化による収益力強化とコンプライアンス体制の確立
7. 内部統制の整備と運用
8. グローバル情報システムの構築による全社業務改革と在庫圧縮の推進
9. キャッシュ・フロー経営の推進と連結バランスシートの改善
10. ISOを中心としたグループ企業の環境改善活動推進と品質マネジメントシステムの一層の向上

## 将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2005年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。